

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和6年6月13日(2024.6.13)

【国際公開番号】WO2023/119779

【出願番号】特願2023-569072(P2023-569072)

【国際特許分類】

C 2 5 B 1 / 0 4 ( 2 0 2 1 . 0 1 )

C 2 5 B 9 / 0 0 ( 2 0 2 1 . 0 1 )

C 2 5 B 1 5 / 0 2 9 ( 2 0 2 1 . 0 1 )

C 2 5 B 1 5 / 0 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 2 5 B 1 / 2 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 2 5 B 1 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 2 5 B 1 / 0 4

C 2 5 B 9 / 0 0 A

C 2 5 B 1 5 / 0 2 9

C 2 5 B 1 5 / 0 8 3 0 2

C 2 5 B 1 / 2 6 A

C 2 5 B 1 5 / 0 0 3 0 2

C 2 5 B 9 / 0 0 Z

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月29日(2024.2.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項1】

水溶液系の電解液を電気分解して水素、酸素、及び塩素の少なくともいずれかを発生させる水溶液電解方法であって、

前記電解液が水溶性のアルコールを含有する水溶液電解方法。

【請求項2】

前記アルコールが、第三級アルコールである請求項1に記載の水溶液電解方法。

【請求項3】

前記第三級アルコールが、2-メチルプロパン-2-オール及び2-メチルブタン-2-オールの少なくともいずれかである請求項2に記載の水溶液電解方法。

【請求項4】

40

前記電解液が、アルカリ成分を含有するアルカリ水溶液であり、

前記アルカリ水溶液中の前記アルカリ成分の濃度が、1～10mol/Lである請求項1～3のいずれか一項に記載の水溶液電解方法。

【請求項5】

前記電解液中の前記アルコールの濃度が、

前記電解液の表面張力が、前記アルコールを含有しない対照電解液の表面張力の90%以下となる濃度である請求項1～3のいずれか一項に記載の水溶液電解方法。

【請求項6】

前記電解液中の前記アルコールの濃度が、0.1～10体積%である請求項1～3のいずれか一項に記載の水溶液電解方法。

50

**【請求項 7】**

アノード室及びカソード室を有する電解セルを使用し、  
共通の前記電解液を前記アノード室及び前記カソード室にそれぞれ供給して電気分解する請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の水溶液電解方法。

10

20

30

40

50